

3月24日

本日は、修了式を校内放送で行いました。
私からは、以下の話をしました。

みなさん、今日をもって令和2年度の教育課程を修了します。
4月に校長先生がみなさんにお話ししたことを覚えていますか。
実は、次の3つのことをがんばってください、とお話ししました。
一つは、「えがお」です。自分や友達を大切にして、みんなが笑顔で過ごせましたか。
2つめは、「どうして、なぜ」です。自分でわからないことを大切にして学習できましたか。
3つめは、「いっしょうけんめい」です。自分であきらめることなく、頑張り抜くことができましたか。
一年間みなさんを見ていて、校長先生から成績をつけてみたいと思います。
まず、「えがお」。これは、「○」です。この一年間、新型コロナウイルスでなかなか思い通りにおともだちと遊べなかったり、お話しできなかったりしましたが、それでも、みんなで楽しく、仲良く過ごせるよう工夫してくれていましたね。素晴らしいと思います。来年度は、お互いに気持ちよく「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」などのあいさつができるのもっと良いと思います。
つぎに、「どうして、なぜ」です。これは「○」です。今年度は授業の中ではなかなかむずかしかったかな、と思いました。友達同士で話し合っただけで考えを深めることができなかつたからです。来年度は、タブレットが一人一台ずつ配られます。これを上手に使って自分たちでどんどん学んでほしいと思います。
最後に「いっしょうけんめい」です。これは、「◎」です。一番素晴らしいと思ったのは持久走記録会に向けて練習していたみなさんの姿です。走るのには苦しいことですが、みなさん本当によく頑張りました。普段の生活の中でも、お掃除や係活動などを頑張っている姿が見られました。
来年度は、それぞれ一学年上の学年になります。新たなクラスで、新たな先生で、新たな友達で、さらに成長してくれることを期待しています。

この後、今年度末でこの学校を去られる先生方を紹介しました。

修了式後、子ども達は去られる先生方に「一年間お世話になりました。」と直接お話ししている子やお手紙を書いている子を大勢見かけました。中には別れを惜しむあまりに泣き出している子もいました。

こうした人に対する感謝の気持ちをしっかり伝えられることもとっても素晴らしいと思っています。いろいろな人との関わりの中で子どもは育っていくと思います。

今年度も、保護者の方や地域の方には大変お世話になりました。温かく、そして時には厳しく接していただいたことが子ども達の心を豊かにしていると感じております。

次年度も、江戸小の子ども達への御支援をよろしくお願い致します。

流山市立江戸川台小学校 校長 上原 和浩